

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

ふるさとや自他を愛し、主体的に考えて行動し、未来を切り拓く児童の育成
～安心・前進・協働を柱に、心身ともに健やかに学ぶ学校～

2 教育方針

「石川の教育振興基本計画」「七尾市教育大綱・七尾市教育ビジョン」を踏まえ、「ふるさと七尾を愛し誇りに思い、輝く未来を切り拓く人づくり」の育成に向けた和倉っ子のための教育活動の推進を図る。

3 中・長期目標

- ◆ 自他を尊重し、共に高め合う学校
- ◆ ふるさと七尾・和倉を愛し、未来を創る学校
- ◆ 進取の心で創出する、協働的な学校

4 重点目標と努力目標

安心

(1) 確かな学力の育成 ～「学ぶ力」を育て、主体的に学ぶ子どもに～



① 学習者主体の授業づくりの推進【セルフ授業スタイル】

- 「主体的・対話的で深い学び」を生かした授業改善（学ぶ意義の理解と目的意識をもった課題解決力の育成）
- 一人ひとりに応じた個別最適な学びの充実
- 多様な視点に触れ思考を深める協働的な学びと、共感的な人間関係を育む授業づくり

② 基礎的・基本的な学力の確実な定着

【学年ごとの学習内容の習得】

- 学力向上ロードマップや学力向上プランの共通実践
- 単元テスト・学力調査等（和倉検定、ワクワクチャレンジテスト）を活用した課題分析と指導改善による授業力向上
- 帯タイム、家庭学習の有効活用

③ with GIGA の積極的な推進

【Next GIGA による学びの拡充】

- 1人1台端末やICTの有効活用（自己選択・自己決定を促す柔軟で主体的な学びの支援）
- 持ち帰り端末を活用した反転学習と家庭学習の連動による理解の深化
- 情報モラル教育の推進

(2) 豊かな心の育成 ～「ともに生きる力」を育て、思いやりある子どもに～

① 自他を尊重し合う教育の推進

- 人権教育・道徳教育・特別活動・キャリア教育の一体的な推進
- 本物にふれる体験や出前授業などを取り入れたカリキュラム・マネジメントの推進

② いじめの未然防止と早期対応

- 子どもの小さなサインを見逃さない日常的な関係づくりと未然防止の徹底
- 迅速な報告・連絡・相談による組織的な対応体制の確立
- 教育相談体制の整備と児童・保護者との信頼関係づくりの推進

③ 不登校・問題行動等の未然防止と組織的対応

- 「チーム支援」による連携体制の構築と早期対応の徹底
- スクールカウンセラー、子育て支援課、児童相談所、警察、発達支援センター等、関係機関との連携
- 幼保小中の円滑な接続と地域全体での支援体制の構築

④ 一人一人のよさを認め合う特別支援教育の充実

- 個に応じた指導と支援体制の整備（教育的ニーズの的確な把握と対応）
- 通常の学級における合理的配慮と学びの場の工夫

(3) 心身共に健康な児童の育成 ～「生きる力」を支える、健やかな心と体を育む～

- ① 健康で安全な生活習慣の確立とメディアリテラシーの育成
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはん、挨拶・清潔・時間管理など生活リズムの安定と基本的な生活態度の育成
 - ・ 情報モラルやメディアとの適切な関わり方の指導とスマホ・ゲーム等の使いすぎへの啓発と家庭連携
- ② 心の健康に配慮した支援体制の充実
 - ・ 教職員、SCとの連携による相談体制の強化
- ③ 防災・安全教育の充実と危機管理意識の高揚
 - ・ 年間指導計画に基づく交通安全、防犯、災害・火災避難等の系統的な安全指導
 - ・ 安全点検・避難訓練を通じた危機管理意識の育成
- ④ 体力の向上のための指導と習慣づくり
 - ・ 「体力アップ1校1プラン」や「スポーチャレいしかわ」など、全校を挙げた継続的な取組の推進
 - ・ 外遊びや体育授業、運動の習慣化を通じた基礎体力の定着

前進

(4) 家庭・地域とともに復興応援大作戦 ～「和倉大好き！」～がんばろう和倉！～

- ① ふるさと七尾・和倉のリソースを活かした地域密着型活動の推進
 - ・ 自然・歴史・文化・人など、ふるさと和倉の地域資源を教材化した体験的学びの推進
 - ・ 「進取の夢」を育む総合的な学習や地域探究の展開
 - ・ よさこい祭りへの参加、町のクリーン作戦、温泉駅の花植えなど、地域連携による共同活動の充実
- ② ふるさとへの誇りとSDGs視点の探究的な学びの推進
 - ・ 「ふるさと和倉」を「日本一の誉れあり」と語れる子どもの育成
 - ・ SDGsの視点を取り入れたふるさと教育の推進
 - ・ with GIGAによる情報活用能力の育成と、ふるさとSDGs学習の深化
- ③ 保護者・地域との連携による学校づくりの改善と充実
 - ・ 学校評価や保護者アンケートの結果を踏まえた改善サイクルの確立



協働

(5) 「チーム和倉」による全教職員の協働 ～「安心・前進・協働」を土台とした、チームによる学校づくり～

- ① 組織的・協働的な支援体制の構築
 - ・ 共に悩み、共に支え合う「チーム和倉」の意識の醸成と連携によるチーム対応の強化
- ② WWS（わくら・ワーク・スタイル）による働き方改革の推進と教職員のウェルビーイング
 - ・ 教職員の心の安定・やりがい・働きやすさに配慮した職場環境の整備
 - ・ 毎週水曜日の定時退校日（18時）、最終退校時刻（19時）の厳守
 - ・ 教育DXや生成AIの活用による業務改善、平準化、効率化の推進
- ③ 教職員の資質・能力の育成（人材育成）
 - ・ 各ステージに応じた教員育成指標や研修履歴に基づく計画的な育成
 - ・ OJT（職場内研修）による日常的な助言・学び合いの場の確保
 - ・ 若手研修（若プロ）、GIGA活用の校内研修、服務規律に関する研修の充実

5 めざす学校像

- ◆ 「自分・友達・和倉 大好き！」和倉っ子

6 めざす児童像

- ◆ 自ら考え行動する かしこい子 (知)
- ◆ 自他を大切にする 心豊かな子 (徳)
- ◆ 心身ともに健康で たくましい子 (体)

7 めざす教師像 ～子どもとともに学び、育ち合い、未来を創る教師へ～

- ◆ 使命と責任を自覚し、服務規律・法令を遵守する教師
- ◆ 自ら率先して、知恵と工夫を出し合い、互いに高め合う教師
- ◆ 一人一人のよさや強みを活かし、「チーム和倉」の一員として協働する教師